

2013年6月19日

日本空港ビルディング株式会社

「ディスカバリーミュージアム」 第11回企画展について

日本空港ビルディング株式会社は、第2旅客ターミナル「ディスカバリーミュージアム」※1において、2013年6月22日（土）より第11回企画展「永青文庫※2の茶入展—大名茶人の名品—」を開催いたします。

今年、生誕 450 年となる細川忠興（三斎）は、戦国時代の武将であり、利休七哲と呼ばれる茶人・千利休の高弟 7 人の 1 人でもありました。茶の湯の世界は奥深く、貴重な茶道具“茶入”は戦国時代では国ひとつに匹敵するほどの価値があるといわれました。本企画展では忠興が命銘し、自ら内箱に記した「白いと」と呼ばれる茶入など、700 年の歴史を持つ細川家伝世の“茶入”を一挙に展示します。大名茶人を魅了した、茶入の世界をディスカバリー（発見）してください。

記

1. 次回企画展 「永青文庫の茶入展—大名茶人の名品—」（入場無料）

2. 期 間 【前期】2013年6月22日（土）～7月28日（日）

【後期】7月31日（水）～9月23日（月・祝）

※前期・後期では、一部の作品の展示替えを行います。

※2013年7月29日（月）、30日（火）は展示替えのため休館致します。

※期間中、毎週水曜日（14:00～、16:00～）にギャラリートークを実施予定。

3. ディスカバリーミュージアム概要

(1) 場 所 第2旅客ターミナル3階

(2) 開館時間 平日 11:00～18:30（最終入場18:00）

土日祝日 10:00～18:30（最終入場18:00）

(3) 電話番号 03-6428-8735

(4) ホームページ <http://www.discovery-museum.com>

※1 第2旅客ターミナル3F南端にある日本初の空港内美術館。

永青文庫の常設企画展として2010年10月に開設しました。

※2 700年の歴史を持つ細川家の至宝を管理し、国宝8点、重要文化財31点をふくむ、およそ6,000点の美術工芸品と50,000点以上にのぼる歴史文書を所蔵している美術館。



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

日本空港ビルディング株式会社 事業開発・運営本部 施設管理部 広告・イベント課

電話 (03) 5757-8520 (9:00～17:30) ※土日祝日除く

【主要作品】



せと いものこ ちゃいれ めい しら
瀬戸(芋子)茶入 銘 白いと

黒漆塗りの内箱には銀粉で「白いと」の文字がある。
利休七哲の一人であり生誕 450 年となる細川忠興（三斎）
が命銘、自らこの文字を記したと鑑定されている。



せと ちゃいれ めい はつかぜ
瀬戸茶入 銘 初風

小堀遠州の美意識を持って選ばれた名品、中興名物の一
つ。松平不昧によって記された『古今名物類聚』において
も「小川 初風 細川越中守」と名を挙げられる。



せと しめきり ちゃいれ めい しめきり
瀬戸(メ切)茶入 銘 メ切

中興名物のひとつ。『名物記』には土井山城守所持との記
載があり、後に細川家へ伝来したものである。釉薬が掛ら
ない部分からは唐物風の濃鼠色の胎土が見え、二段に張っ
た肩が特徴的である。



なんきんそめつけちゃいれ せいかともぶたこつぽ
南京染付茶入(青花共蓋小壺)

中国から渡ってきた小壺は、日本で抹茶を入れる「唐物
茶入」として絶対的な位置にあった。茶入は黒褐色の釉薬
がかかったものが多いなか、細川家には染付の茶入が伝
わっている。



せと ちゃいれ めい やまざくら
瀬戸茶入 銘 山桜

実業家でもあり茶人の高橋常庵が編集した『大正名器鑑』
にも掲載されている。肩が広く、二筋の黒釉の流れが特徴
的である。茶入を入れる袋(仕覆)や箱等と共に展示。



せとかたつきちゃいれ めい
瀬戸肩衝茶入 銘 しののめ

藁灰釉が肩で縮れ、色合いも美しい。ピンクを含んだなだ
れを、夜明け前の東の空を表す「東雲」に見立てたこと
による銘であろう。色鮮やかな仕覆や付属品と共に展示。